

経営比較分析表（令和5年度決算）

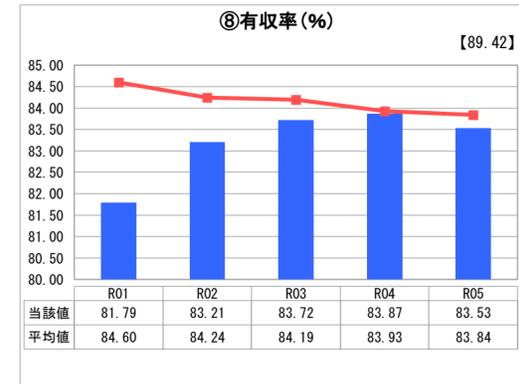
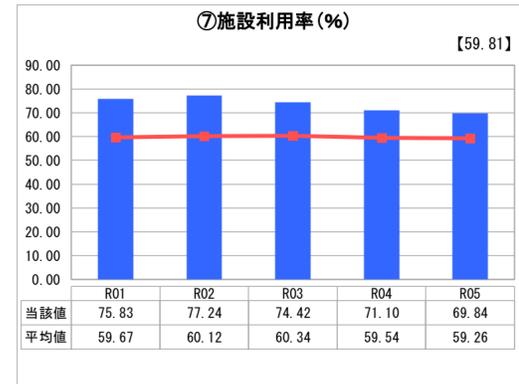
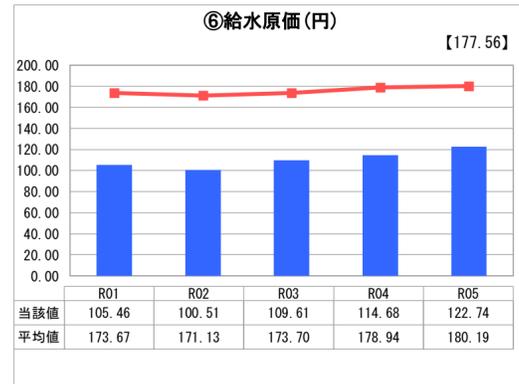
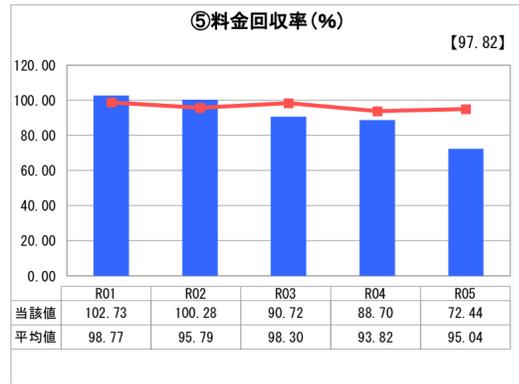
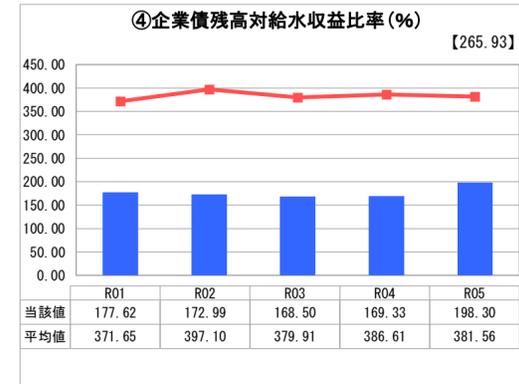
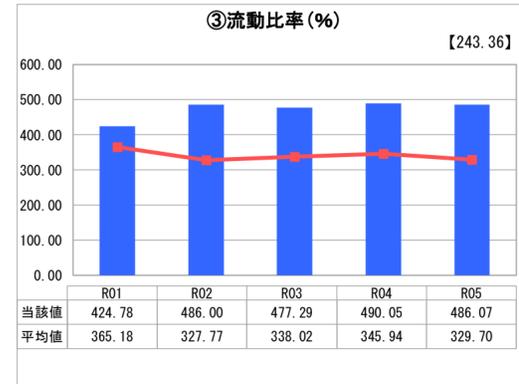
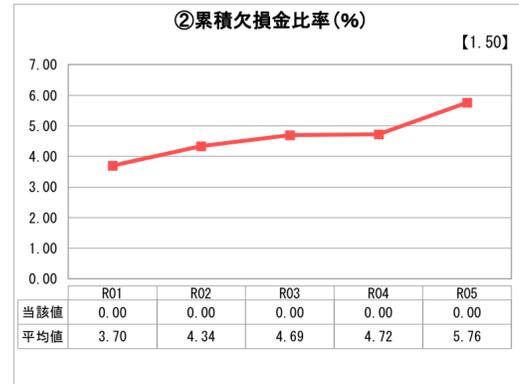
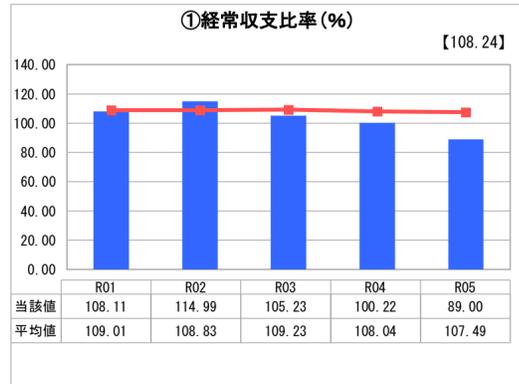
神奈川県 南足柄市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A5	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)	
-	87.15	96.65	1,595	

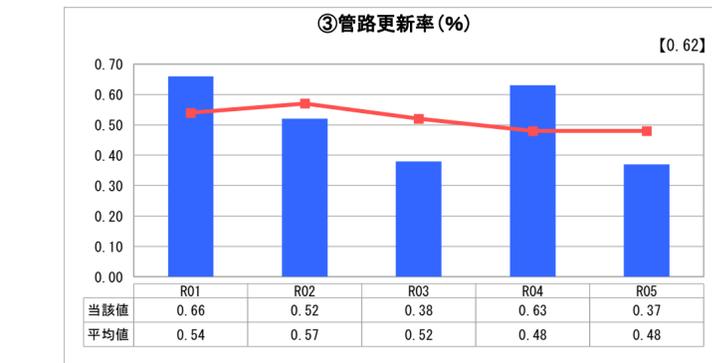
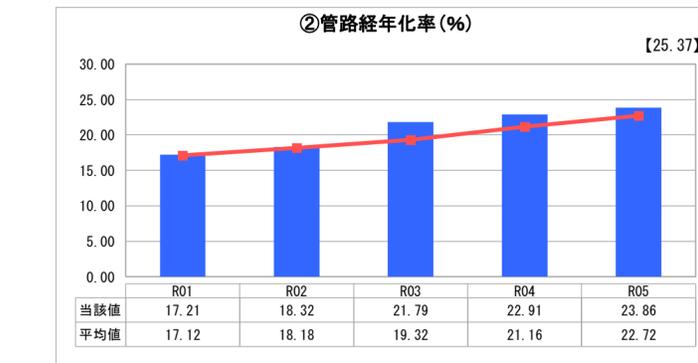
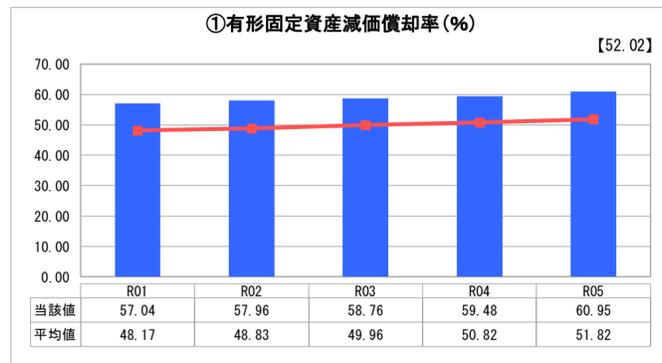
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
40,666	77.12	527.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
39,081	19.05	2,051.50

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和5年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は前年度より約11ポイントと大きく減少し、100%を下回りました。② 累積欠損はありませんが、厳しい経営状態であるといえます。③ 流動比率も100%を超え、短期的な債務に対する支払い能力は十分にある状態です。④ 企業債残高対給水収益比率は、資金的に余裕があるため、類似団体や全国平均より低い状態で推移していますが、今後、更新工事等の設備投資が増加することにより高くなるのが想定されます。⑤ 料金回収率は給水収益の減少により前年度より約16ポイント低くなっており、今後も水需要の減少や更新工事の実施による費用の増加による影響を受け、減少傾向は続くものと思われます。⑥ 給水原価が類似団体や全国平均より低い状態は以前から変わりありません。理由は、本市が表流水と地下水の両方を水源としていることや立地条件によるものと考えられます。⑦ 施設利用率は、類似団体や全国平均より比較的高く、有効的に施設を活用していると言えます。⑧ 有収率は、昨年度より若干減少しましたが、類似団体と同程度です。

2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率は、類似団体や全国平均より高い水準となっており、老朽化が進んでいるため、計画的な更新工事を実施しています。② 管路経年化率は、類似団体平均と同様に上昇傾向ですが、平均より法定耐用年数を経過した管路が多いため、管路の更新を進める必要があります。③ 管路更新率は、工法等の見直しや関係機関との協議に時間を要したため繰越となった事業があり、前年度より約2ポイント減少しました。DB方式導入により、効果的かつ効率的に幹線管路の更新工事を今後も進めていきます。

全体総括

令和5年1月に大口利用者が工場の操業を終了したため、料金収入が大きく減少しました。今後も人口減少や節水機器の普及により、家庭用の水需要も減少傾向が続いていくものと予想され、厳しい経営状況が見込まれます。施設や管路の老朽化対策については、これまでも計画的に実施してまいりましたが、能登半島地震を受け、基幹管路の耐震化を早急に進める必要があります。今後も安全・安心な水を安定的に供給していくため、適正な料金収入の確保に努めるとともに、必要な更新工事や耐震化を効率的に進めてまいります。